

〈ヤマノイモとオニドコロ〉

今まで気づかなかったが、隣の畑との境にある桑の木にヤマノイモのタネ（果実）がからみついていた。夏場は桑の葉で見えなかったのだ。このヤマノイモによく似たものにオニドコロという植物があるのだが、以前、観察会でその違いを教えていただいた。ムカゴがついていればヤマノイモ、ついていなければオニドコロとすぐに判別できるとのこと。が、ムカゴがない時期は葉のつき方で同定する。ヤマノイモは細長いハート型で対生、オニドコロはきれいなハート形で互生だ。葉のない時期はタネで見分ける。オブラートのような薄い翼のほぼ中央にタネがあるのがヤマノイモ、カエデのタネに似ているのがオニドコロだ。こんな薄っぺらな鞘にさらに薄いタネが入っていることに驚く。両者の見分け方ができ新たな知識を得たことは素直に嬉しいが、見分けるためのポイント（新たな発見道具）を獲得できたことはもっと嬉しい。今まで気づかなかったことに気づける、分かるようになることは間違いなく今までとは違った自分＝成長につながるからだ。

（ヤマノイモの果実と種子）

（オニドコロの果実と種子）

